

中部電力グループ 経営ビジョン

期待を超えるサービスを、先駆けてお客さまへ
「一歩先を行く総合エネルギー企業グループ」
を目指して

2016年2月

中部電力株式会社

目次

はじめに

1 中部電力グループ 経営ビジョン

- 1-1 経営ビジョン策定の背景と目指す方向性
- 1-2 経営ビジョンの全体像
- 1-3 中部電力グループの目指す姿
- 1-4 新たなビジネスモデルの構築
- 1-5 環境経営の徹底①
- 1-6 環境経営の徹底② ～原子力発電の継続的な活用～
- 1-7 環境経営の徹底③ ～火力発電・送配電・小売の取り組み～
- 1-8 先端技術の活用・開発
- 1-9 社会的責任の完遂・人財の活用
- 1-10 2030年時点の定量的な目指す姿

<各事業分野において目指す姿>

2 発電カンパニー・JERA

- 2-1 発電カンパニー・JERAの目指す姿
- 2-2 発電カンパニー・JERAの事業分野
- 2-3 JERAの取り組み
- 2-4 発電カンパニーの取り組み

3 電力ネットワークカンパニー

- 3-1 電力ネットワークカンパニーの目指す姿
- 3-2 電力ネットワークカンパニーの「変わらぬ使命」
- 3-3 電力ネットワークカンパニーの「新たな価値の創出」

4 販売カンパニー

- 4-1 販売カンパニーの目指す姿
- 4-2 販売カンパニーの「新たな価値の創出」
- 4-3 最良のサービス提供に向けた取り組み①
- 4-4 最良のサービス提供に向けた取り組み②
- 4-5 他社に先駆けた新しい取り組みへの挑戦

(参考) 2030年時点の事業規模等

はじめに

「中部電力グループ 経営ビジョン」に込めた思い

私たち中部電力グループは、

世界のものづくりをリードし人・情報・文化の交流拠点として栄える中部地域の皆さまに育てていただきました。

おかげさまで今年の5月をもちまして創立65周年を迎えます。

この場を借りまして、これまでの私たちの事業に対するご理解とご支援に、深く感謝申し上げます。

この度、策定しました「中部電力グループ 経営ビジョン」は、電力・ガスシステム改革をはじめとする大きな事業環境変化の中で、お客さま・社会からの信頼と期待に応え、選ばれ続けるために、私たちの決意と目指す企業グループの姿を改めて掲げたものです。

エネルギー事業を取り巻く環境は、急激な変化の只中にあります。

私たちは、この歴史的転換点をさらなる成長に向けた第二の創業期と位置づけ、

新たなビジネスモデルの構築とそれを支える事業基盤の強化に、一丸となって取り組んでいきます。

私たち中部電力グループは、いつの時代においても、くらしに欠かせないエネルギーをお届けする事業者として、

地球環境に配慮した、良質なエネルギーを安全・安価で安定的にお届けするという「変わらぬ使命の完遂」に努めてまいります。

同時に、それを礎として、時代の変化を見据えた「新たな価値の創出」に挑戦し続けることで、

期待を超えるサービスを、先駆けてお客さまへお届けする

「一歩先を行く総合エネルギー企業グループ」を目指してまいります。

2016年2月

中部電力株式会社
代表取締役社長
社長執行役員

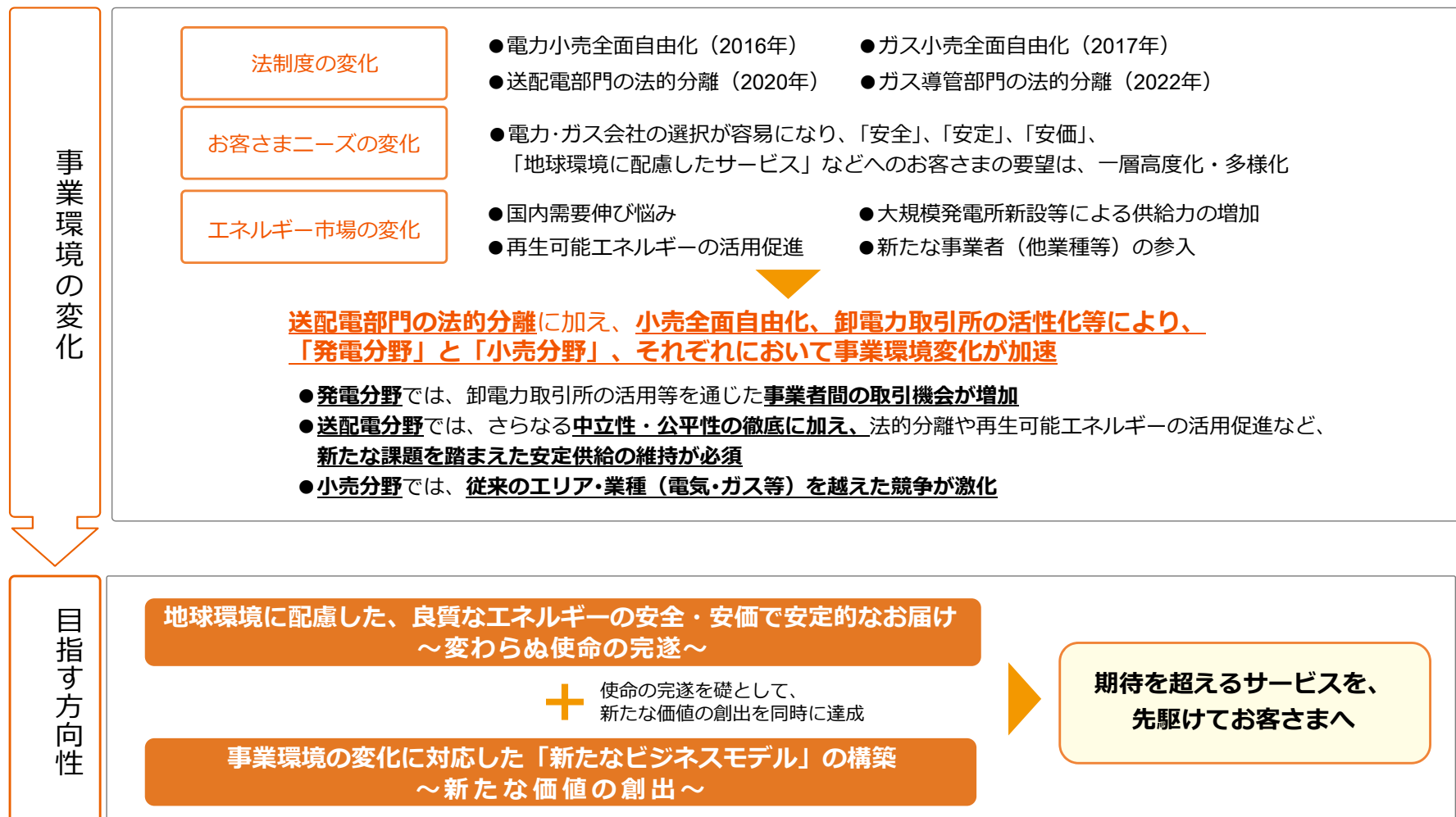
勝野 哲

1

中部電力グループ 経営ビジョン

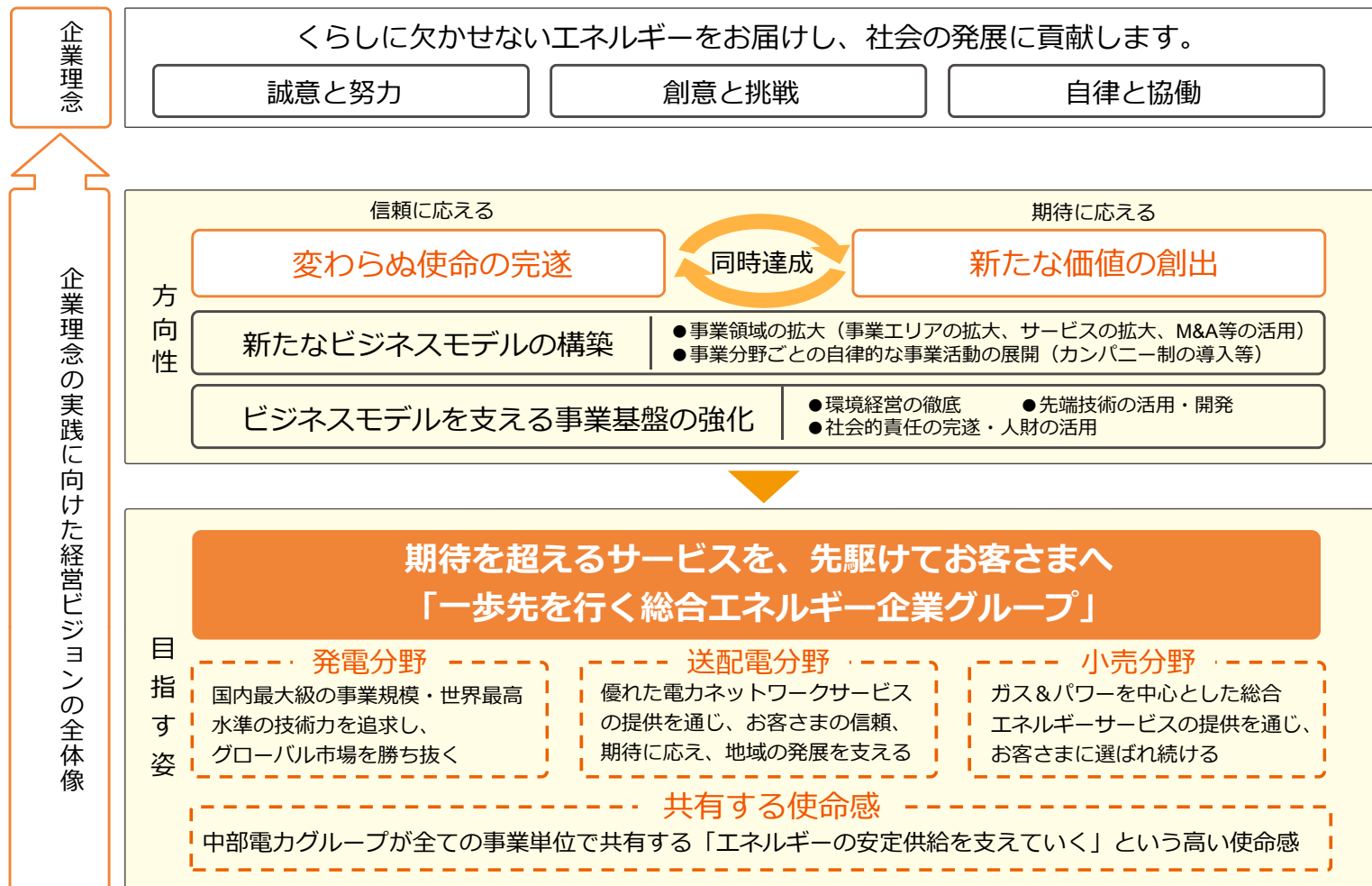
「変わらぬ使命の完遂」と「新たな価値の創出」を同時に達成し、新しい中部電力グループへと進化していきます。

中部電力グループを取り巻く事業環境は、大きく変化しています。私たちは、こうした環境の変化を次の成長へ向けたチャンスととらえ、改革に取り組み、新たな発想で「新しい中部電力グループ」を創り上げていきます。



目指す方向性を経営ビジョンとして具体化し、企業理念を実践していきます。

どんなに事業環境が変化しても、くらしに欠かせないエネルギーをお届けし、社会の発展に貢献するという企業理念は変わりません。その実践に向けた経営ビジョンを、新しい時代に合わせ具体化していきます。



「一歩先を行く総合エネルギー企業グループ」を目指します。

中部電力グループは、事業環境の急激な変化を踏まえ、お客さまに選んでいただける企業を目指し、一層邁進していきます。

中部電力グループの「目指す姿」

期待を超えるサービスを、先駆けてお客さまへお届けするリーディングカンパニーとして、
「一歩先を行く総合エネルギー企業グループ」を目指します。

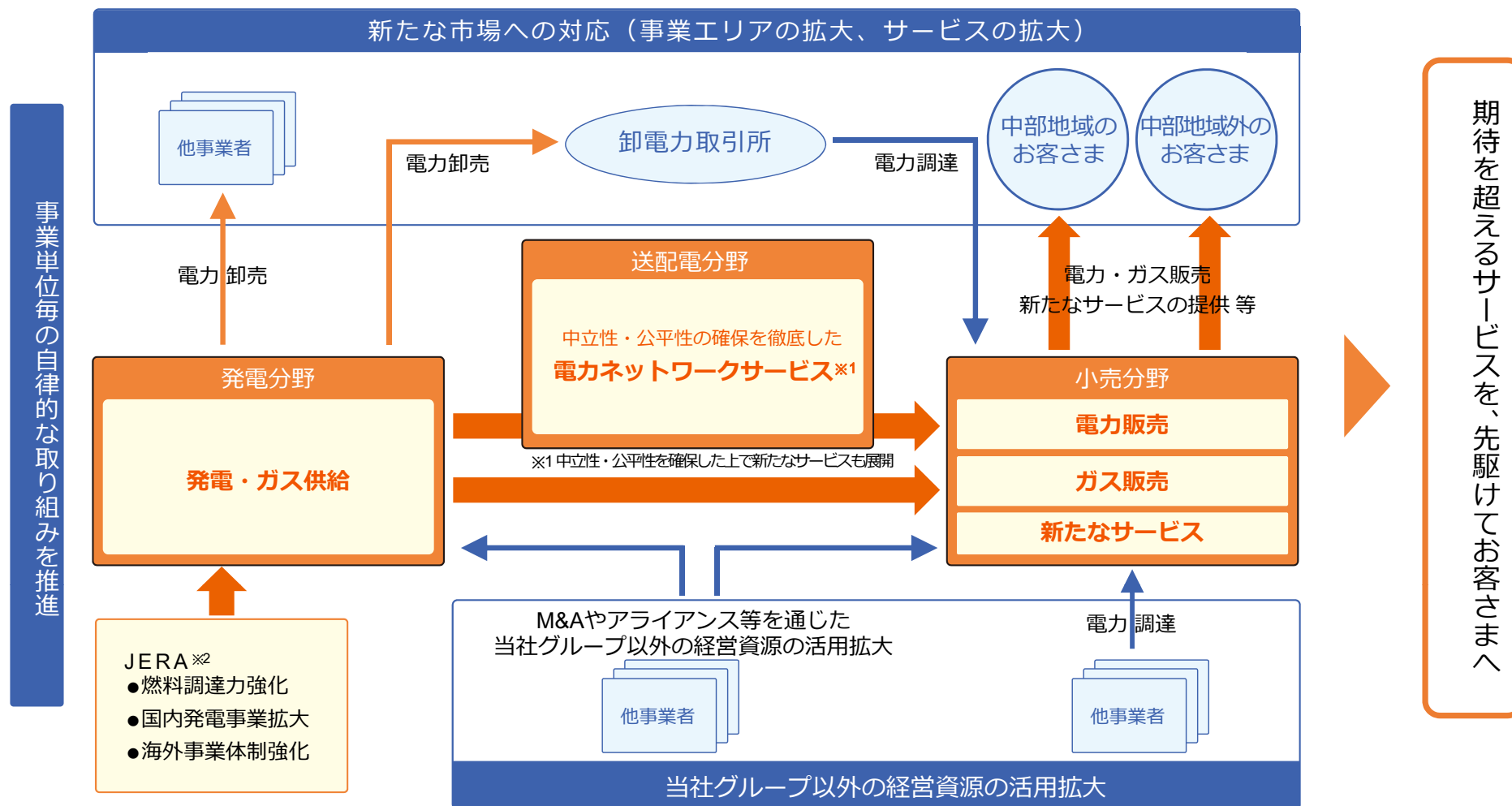
新たな具体方針

- 地球環境に配慮した、良質なエネルギーを安全・安価で安定的にお届けします。
- お客さまとともに最適なエネルギー利用を追求し、他社に先駆けて新しい魅力的な商品・サービスを創出します。
- 培ってきた経営資源・ノウハウを活用し、国内外で事業領域を拡大、新たな価値を創出します。
- 国内外の競合他社を上まわるトップレベルの技術力、サービス力、マネジメント力を磨いていきます。

従来の枠にとどまらない**「新たなビジネスモデルの構築」**を通じ、
お客さま、社会に提供する価値の最大化に努め、持続的な成長を達成していきます。

M&Aやアライアンス等も活用し、各事業分野の自律的な事業拡大を図り、「新たなビジネスモデル」を構築していきます。

目指す姿の実現に向けて、全ての事業単位において自律的な取り組みを推進し、新たな市場に対応するとともに、M&Aやアライアンス等の機会も積極的にとらえ、グループ会社も含めた内外の経営資源を最適に組み合わせ活用していきます。



※2 燃料上流・調達から発電までのサプライチェーン全体に関わる中部電力と東京電力の合併会社

最適なエネルギーミックスの追求と省エネを推進し、 環境経営の徹底を通じて地球規模での低炭素社会の実現に貢献します。

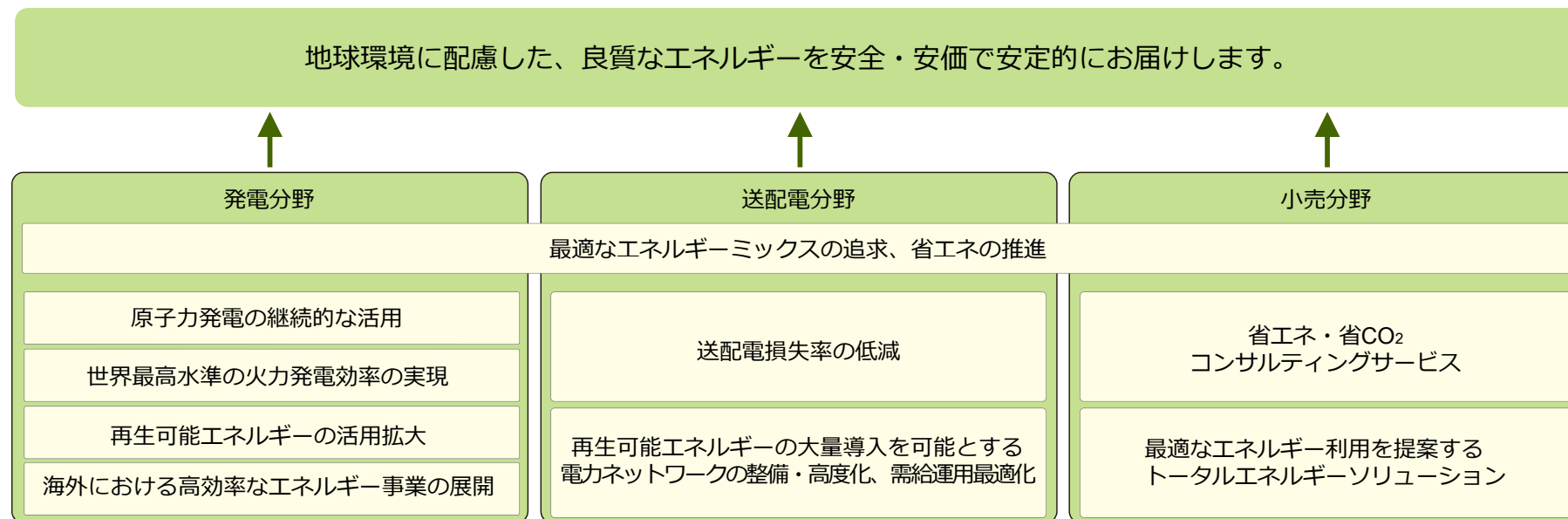
安全確保（Safety）を大前提とした、エネルギー安定供給（Energy Security）、経済性（Economic Efficiency）、環境への適合（Environment）の同時達成を目指す「S+3E」の観点から、最適なエネルギーミックスを追求していきます。私たちは、省エネの推進等、発電から送配電、小売に至る電気の需給のあらゆる段階で取り組みを強化し、引き続き低炭素社会の実現に向けて努力していきます。

- 具体的には、国の長期エネルギー需給見通しで示された電源構成※やエネルギー自給率の向上、温室効果ガス削減目標の達成に向けて、原子力発電所の再稼働に向けた取り組み等を進め、原子力発電の継続的な活用を図るとともに、再生可能エネルギーの推進、高効率な火力発電の導入等を推進していきます。

※長期エネルギー需給見通し（2030年時点）

【省エネ目標】対策前比17%減 【電源構成】再エネ22～24%、原子力22～20%、LNG27%、石炭26%、石油3%

- また、国内にとどまらず、海外での高効率なエネルギー事業の展開等を通じて、地球規模での低炭素社会の実現に貢献していきます。



安全の確保と地域の信頼を最優先に、原子力発電の継続的な活用に取り組んでいきます。

分野	施策
<p style="text-align: center;">発 電</p> <p style="text-align: center;">原子力発電</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 安全の確保と地域の信頼を最優先に、引き続き、原子力発電の活用に向けた取り組みを進めていきます。 <ul style="list-style-type: none"> ・世界最高水準の安全性達成を目指して、浜岡原子力発電所の安全性向上対策に継続して取り組み、新規制基準に適合しているとの確認を早期にいただけるよう最善を尽くしていきます。 同時に、常に内外の知見や現場での「気づき」を取り入れる等、原子力の安全性を自主的・継続的に向上させる取り組みを着実に進めていきます。 あわせて、リスクを含めた情報を、地域をはじめ社会の皆さまにわかりやすくお伝えするとともに、皆さまの不安や疑問に丁寧にお答えする双方向コミュニケーションに取り組み、より深い信頼関係を構築していきます。 ・防災体制の整備、訓練の充実を図るとともに、緊急時対応の実効性向上に向け、国や自治体、さらには他の事業者との連携を強化するなど、ソフト面での対策にも、全力で取り組んでいきます。 ・長期的には、最新の知見や技術の導入による運転期間(40年)の延長、他社発電所からの受電等、さまざまな選択肢について検討を進めていきます。 ・浜岡原子力発電所1、2号機の廃止措置についても、安全確保を最優先に計画的に進めていきます。 ・使用済み燃料の再処理によるエネルギー資源の有効活用、放射性廃棄物の処理・処分についても、国や関係機関と連携し、着実に進めていきます。 ● こうした取り組みを通じ、国の長期エネルギー需給見通しで示された電源構成（原子力については2割程度）を踏まえ、原子力発電の継続的な活用に向けて取り組んでいきます。

世界最高水準の火力発電効率の実現や再生可能エネルギーの受入・活用拡大、省エネ・省CO₂活動と、様々な取り組みを進めていきます。

分野		施策
発電	火力発電	<ul style="list-style-type: none"> ● 国の需給見通しで示された石炭・LNGのバランスを踏まえつつ、JERAの取り組みを通じて、<u>BAT（経済的に利用可能な最良の技術）を導入し、高経年火力を最新鋭火力へリプレースします。</u>同時に、既存の火力発電所も含めた<u>運用の最適化に取り組むことで、世界最高水準の発電効率を実現していきます。</u> ● 国内発電事業で培った世界最高水準の技術力を活かし、海外で高効率なエネルギー・インフラ事業等を積極展開することで、地球規模での低炭素社会の実現に貢献していきます。
	再生可能エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ● <u>2030年時点で中部地域において想定される電力需要の2割強にあたる再生可能エネルギーの受入・活用を目指していきます。</u> <ul style="list-style-type: none"> ・再生可能エネルギー受入増加を可能とする電力ネットワークの整備・高度化、需給運用最適化に取り組んでいきます。 ・当社グループとしても、再生可能エネルギーのさらなる活用拡大を目指していきます。
送配電	再生可能エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ● 合理的な設備の形成や、低損失仕様の機器・装置の採用などにより<u>送配電損失率の低減を目指していきます。</u>
	電力ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> ● エネルギー利用の見える化を実現するWEB会員サービス「カテエネ」、「ビジエネ」をはじめとした<u>コンサルティングサービスを充実させていきます。</u> ● お客さまと設備開発段階から協働し、生産性の向上と省エネを図る「開発一体型ソリューション」や、コージェネレーション設備の導入、燃料転換による工場全体のエネルギー最適化提案などの<u>ソリューションサービスを充実させていきます。</u>
小売	省エネ・省CO ₂ 活動	<ul style="list-style-type: none"> ● エネルギー利用の見える化を実現するWEB会員サービス「カテエネ」、「ビジエネ」をはじめとした<u>コンサルティングサービスを充実させていきます。</u> ● お客さまと設備開発段階から協働し、生産性の向上と省エネを図る「開発一体型ソリューション」や、コージェネレーション設備の導入、燃料転換による工場全体のエネルギー最適化提案などの<u>ソリューションサービスを充実させていきます。</u>

事業基盤の強化と事業領域の拡大に向けた先端技術の活用・開発を推進します。

事業環境の変化と急速に進展する技術革新をとらえ、ICTをはじめとする新たな技術の融合・活用と、さらなる技術開発への取り組みを一層深めます。これを通じて、事業基盤の強化・高度化に繋がるとともに、新たなビジネス・サービスを創出します。

事業基盤強化への取り組み

お客さま向けサービス・機器の開発

- 【ビジネス向け】
 - 生産プロセス向け電化技術・機器開発 等
 - 電気&ガスハイブリッド技術
- 【家庭向け】
 - エネルギー最適利用技術
(電気&ガスハイブリッド技術、エネルギーマネジメントシステム 等)
 - ビッグデータを活用した新たなサービス 等

低炭素化に資する技術開発

- 原子力発電所のさらなる安全性向上
- 原子燃料サイクル、次世代原子力発電技術
- 火力発電の高効率化
- 再生可能エネルギーの受入・活用拡大 等



安定供給に資する技術開発

- 劣化診断・故障対応の高度化
- 次世代電力ネットワークの形成 等
(電圧監視・制御、蓄電池・双方向通信利用 等)

事業運営の高度化・生産性向上に資する技術活用

- IoT・ビッグデータ・AIを活用し、グループ経営戦略・管理、設備形成・運用・管理および業務を効率化・高度化 等

事業領域拡大への取り組み

新たなエネルギー源に係る研究開発

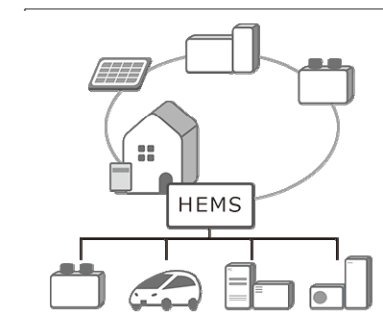
- 水素発電
- 水素ネットワーク 等

新たなエネルギー利用・供給形態に係る研究開発

- 従来型大規模電力網と、再エネ等の分散型電源を含む地産地消グリッドの併用・協調する電力ネットワーク等

技術経営戦略の深化

- 経営戦略とR&D（技術開発）・ICT（情報通信）機能の連携を強化



先端技術、低炭素化・省エネ技術

- IoT・ビッグデータ・AIを活用した先進サービス
- センサー技術・ロボット技術活用
- CO₂削減技術、地熱資源、バイオマス利用 等

企業の社会的責任の完遂と人財の確保・育成・活用に努め、 強固な事業基盤を築きます。

お客さまや社会からの信頼と期待に応えるため、「企業の社会的責任（CSR）」の完遂に努めるとともに、全ての事業活動の礎となる「人財の確保・育成・活用」を推進していきます。

企業の社会的責任（CSR）の完遂

コンプライアンス経営の確立

- 国内外の法令・ルールを守り、企業倫理を重んじて公正・誠実に行動します。

相互コミュニケーションの充実

- 事業活動に関わる全ての方々との相互コミュニケーションを重視し、透明性の高い開かれた企業活動を推進します。

<中部電力グループコンプライアンス基本方針に掲げる原則>

- コンプライアンスの徹底
- 政治・行政等との健全な関係の保持
- 公正・誠実な企業活動
- 資産の適正管理・活用
- 適正な情報管理・公開
- 環境の保全
- 健全な企業風土の確立
- 安全・衛生、保安の確保

人財の確保・育成・活用

多様な人財の活躍

- 事業領域の拡大を通じた持続的な成長を実現するため、多様な人財が能力を最大限発揮できる就業環境の整備を着実に展開します。

<就業環境の整備>

- ダイバーシティの推進（女性の一層の活躍推進、障がいを持った方の雇用促進、高齢者の活躍推進など）
- 仕事と生活の両立を支援する諸施策等

人財の確保・育成

- 新たな事業への挑戦を支える高度な専門スキルを有した人財や、自律的な事業を主導できるマネジメント力を有する人財の確保・育成に取り組みます。

これらの取り組みを通じ、
「一歩先を行く」事業活動を支える
多様な人財の確保・育成・活用を
推進していきます。

「新たな価値の創出」に向けた取り組みを通じて、収益基盤を拡大し、持続的な成長を目指していきます。

急激に変化する事業環境下にあっても、私たちは、日本国内はもとより、グローバルな視野で競争力ある事業を展開するため、その基盤となる財務の安定性の維持に努めていきます。

その上で、利益成長を積極的に追求し、

- JERAを通じた事業活動
- 中部エリア外の電力販売をはじめとする新しい事業領域における活動など、

「新たな価値の創出」に向けた取り組みにより、これまでの電気事業からの利益とは別に、1,600億円以上（2030年時点）の新たな利益獲得を目指します。

「新たな価値の創出」に向けた取り組みにおいて
1,600億円以上の新たな利益獲得※を目指します。

※経常利益ベース

新たな取り組み

JERAを通じた事業活動

海外発電事業

国内火力発電事業
(新設・リブレース)

燃料事業
(燃料上流・トレーディング)

新しい事業領域における活動

中部エリア外
電力販売

ガス・LNG販売

新たなサービス等



電気事業を基盤として、
利益規模を拡大

電 気 事 業 (中 部 地 域)

中部電力グループは、中部地域における電気事業を基盤に、新たな事業領域の拡大(エリア、サービスの拡大等)を図り、期待を超えるサービスを、先駆けてお客さまへお届けする「一歩先を行く総合エネルギー企業グループ」として、持続的な成長を達成していきます。

各事業分野において目指す姿

2

発電カンパニー・JERA

国内最大級の事業規模・世界最高水準の技術力を追求し、 グローバル市場での競争を勝ち抜いていきます。

発電カンパニー・JERAは、「変わらぬ使命の完遂」と「新たな価値の創出」の2つの行動原則のもと、国内最大級の事業規模・世界最高水準の技術力を追求していきます。同時に、その優位性を原動力にグローバル市場での競争を勝ち抜き、企業価値向上を図っていきます。また、再生可能エネルギー分野においては、エネルギー自給率の向上・温室効果ガスの削減に貢献するため、当社グループの経営資源を最大限活用し、積極的に再生可能エネルギーの活用拡大を図っていきます。

発電カンパニー・JERAのミッションと目指す姿

I 変わらぬ使命の完遂

お客さまに国際競争力ある電力・ガス等のエネルギーの安定的な供給

II 新たな価値の創出

中部エリア外の大規模電源・ガス源確保を通じた事業規模の拡大

海外発電・エネルギーインフラ事業、燃料調達を基盤とする事業の拡大

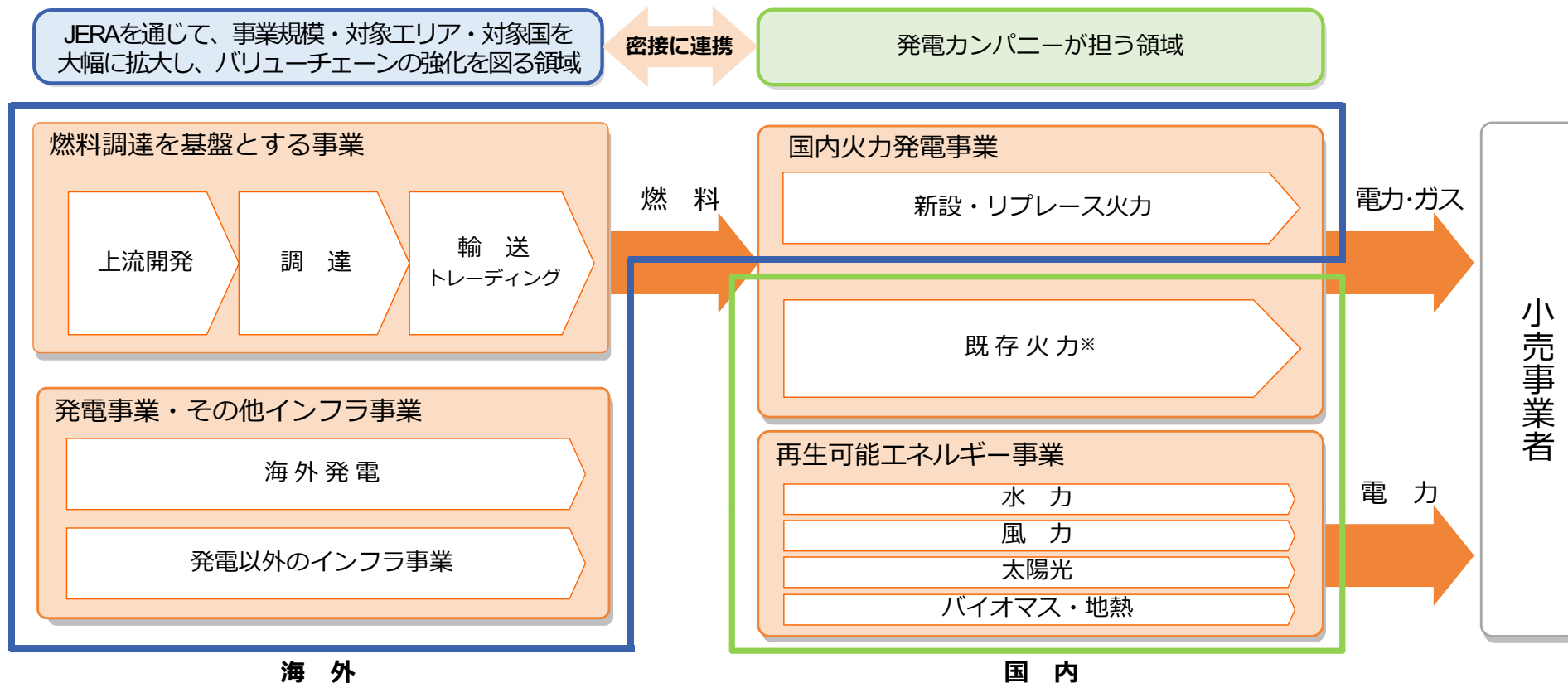
再生可能エネルギーの活用拡大の推進

国内最大級の事業規模・
世界最高水準の技術力を追求し、
グローバル市場での競争を勝ち抜く

温室効果ガスの削減に貢献する

発電カンパニーとJERAの強みを融合し、お客さまにお届けする価値の最大化を図ります。

発電分野においては、東京電力と共同で設立したJERAを通じて事業規模・対象エリア・対象国の拡大を図り、バリューチェーンの強化を進めることで、国際的に競争力のあるエネルギー供給と、企業価値の向上を実現していきます。
同時に、当社グループの保有する高い技術力・ノウハウを活用し、一層オペレーションを高度化することにより、地球環境に配慮した、良質なエネルギーを安全・安価で安定的にお届けしていきます。

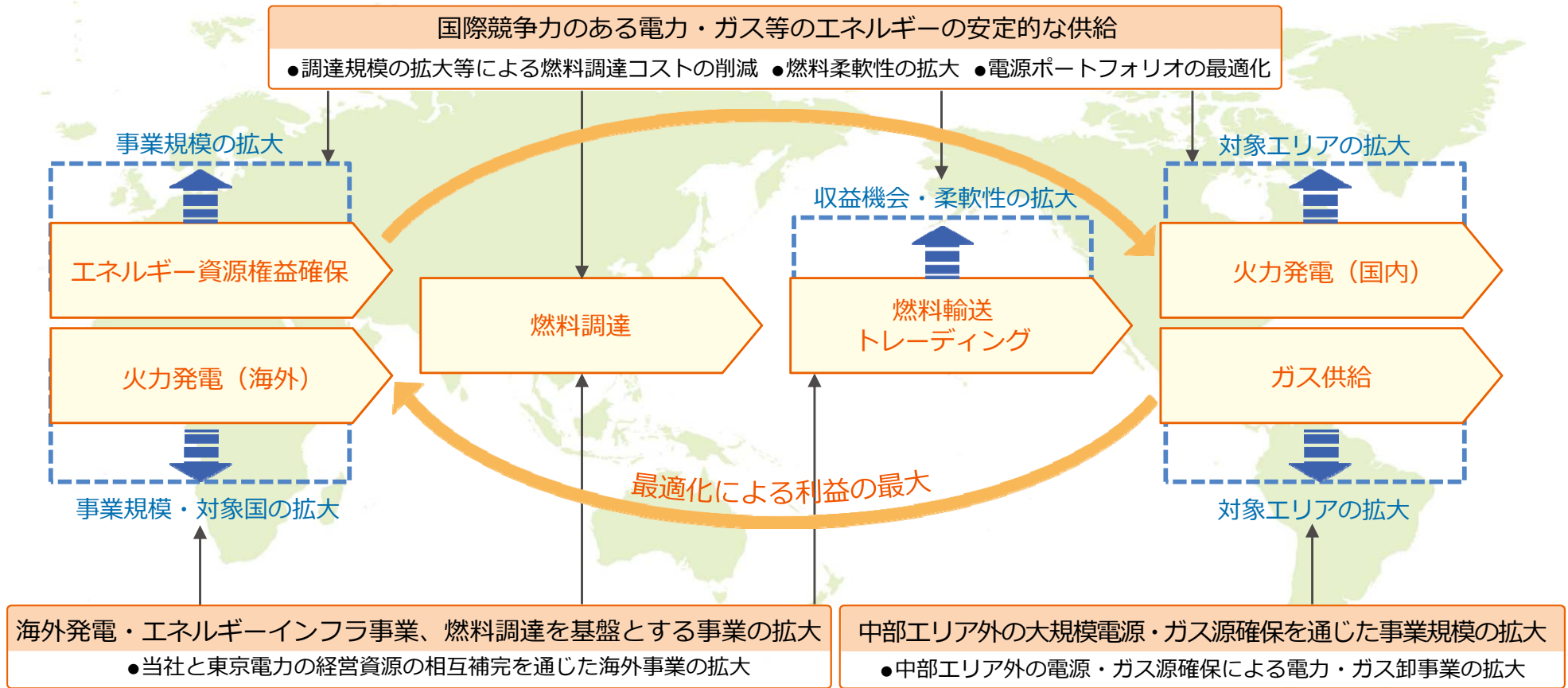


* 既存火力発電事業関連資産に関するJERAへの統合については、JERAの事業成果等を確認した上で2017年春頃に判断（目標）

JERAは、各事業からの投資利益とバリューチェーンの最適化から生じる利益を両輪に、事業を拡大していきます。

エネルギー資源の権益確保から調達・輸送・ガス供給・発電（国内外）に至るバリューチェーンを、各事業ごとに区分し、事業領域ごとの投資利益の拡大を目指します。

同時に、運用面においてはバリューチェーン全体の活動を見据え、経営資源の配分やオペレーションの最適化を図ることにより、利益とリスクをコントロールできる体制を構築。競争力のある革新的なサプライヤーとして、国内はもとよりグローバル市場での競争を勝ち抜いていきます。

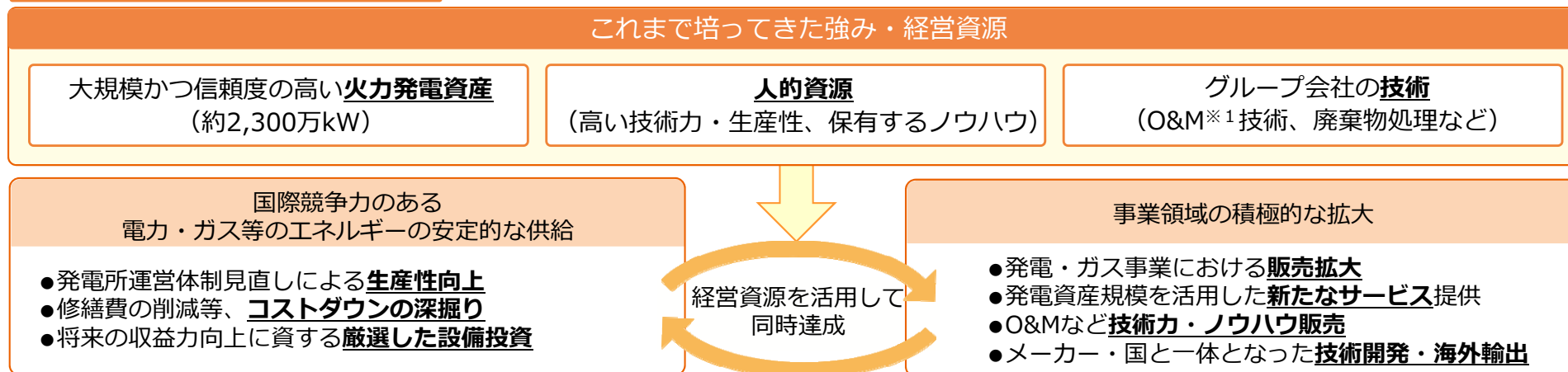


2-4 発電カンパニーの取り組み

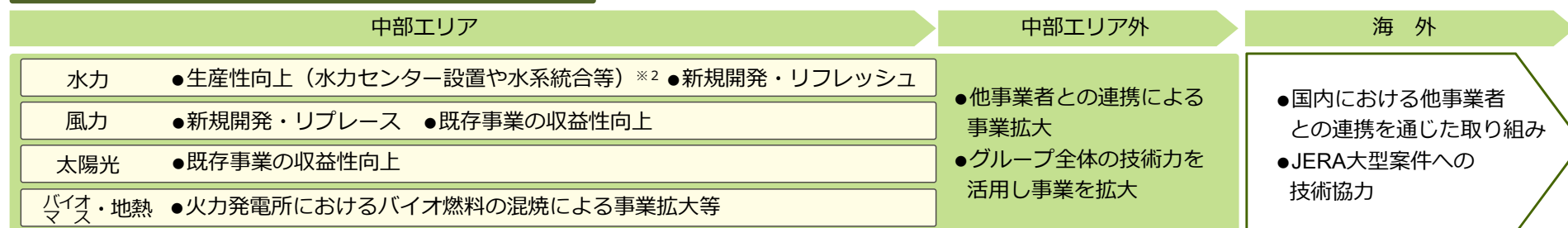
発電カンパニーは、グループ内外のリソースを積極的に活用し、火力発電分野と再生可能エネルギー分野における事業領域の拡大を進めていきます。

発電カンパニーが培ってきた強みである経営資源やノウハウを活かした取り組みを進め、地球環境に配慮した、良質なエネルギーの安全・安価で安定的な供給と、事業領域の拡大を積極的に進めていきます。再生可能エネルギー分野においても、さらなる事業拡大に向け、他事業者との連携も視野に取り組みを加速します。

火力発電分野の取り組み



再生可能エネルギー分野の取り組み



再生可能エネルギー事業部を新たに設置し、取り組みを加速

※1 オペレーション&メンテナンス

※2 水力センター：水力発電所、ダム運用に関わる機能を集約し、効率的に運営していくための組織

水系統合：着実かつ効率的な業務運営のため、水系ごとにダム制御機能を1箇所に集約

3

電力ネットワークカンパニー

優れた電力ネットワークサービスの提供を基軸に、地域・社会の発展に貢献していきます。

電力ネットワークカンパニーは「変わらぬ使命の完遂」と「新たな価値の創出」という2つの行動原則のもと、3つのミッションを掲げ、これを他社よりも優れた水準で実現する「リーディングカンパニー」となることを通じて、地域・社会の発展に貢献していきます。

電力ネットワークカンパニーのミッションと目指す姿

I 変わらぬ使命の完遂

良質な電気の安全・安価で安定的なお届け

お客さまや地域社会のニーズを先取りした
高度な電力ネットワークサービスの実現

II 新たな価値の創出

効率的なエネルギー利用への貢献と新たなエネルギービジネスの展開

他社より優れた水準で実現
(リーディングカンパニー)

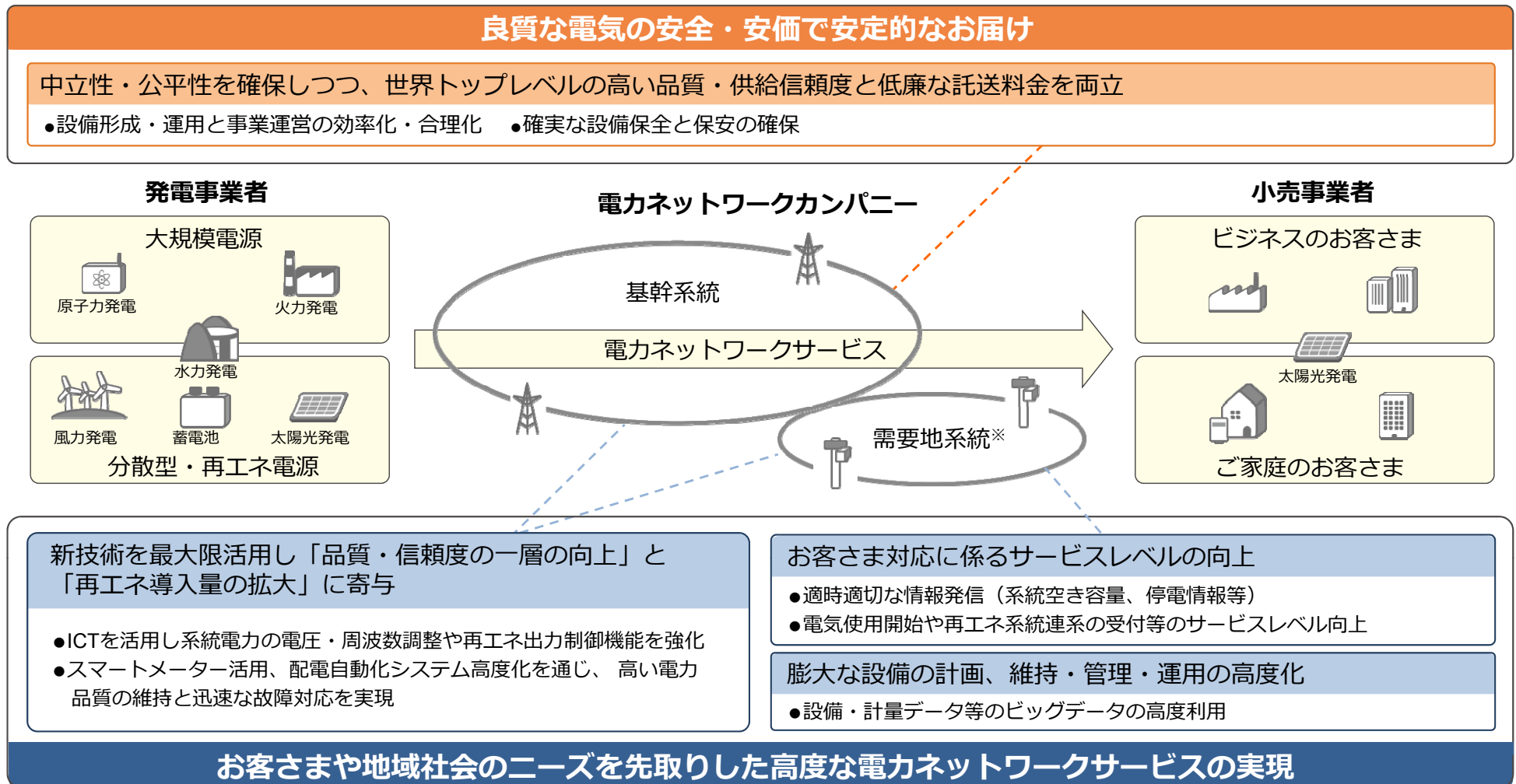
「信頼」「期待」に応え、
地域・社会の発展を支える

- 急激な環境変化の中にあっても、中立性・公平性を確保しつつ、高い電力品質と低廉な託送料金を両立し「変わらぬ使命の完遂」に努めます。
- 3つのミッションの実現とさらなる成長のため、従来のやり方にとらわれることなく常に新しい技術や工夫を取り入れ合理化・高度化を進めるとともに、新たなビジネスの展開を通して技術力や人財等を磨き続けていきます。

3-2 電力ネットワークカンパニーの「変わらぬ使命」

送配電事業者として、変わらぬ使命を果たし、お客さまの暮らしやビジネスを支えていきます。

「良質な電気の安全・安価で安定的なお届け」と「お客さまや地域社会のニーズを先取りした高度な電力ネットワークサービスの実現」を通じて変わらぬ使命を完遂します。



※配電系統や154kV以下系統に加え地産地消グリッド等を含めた電力系統

3-3 電力ネットワークカンパニーの「新たな価値の創出」

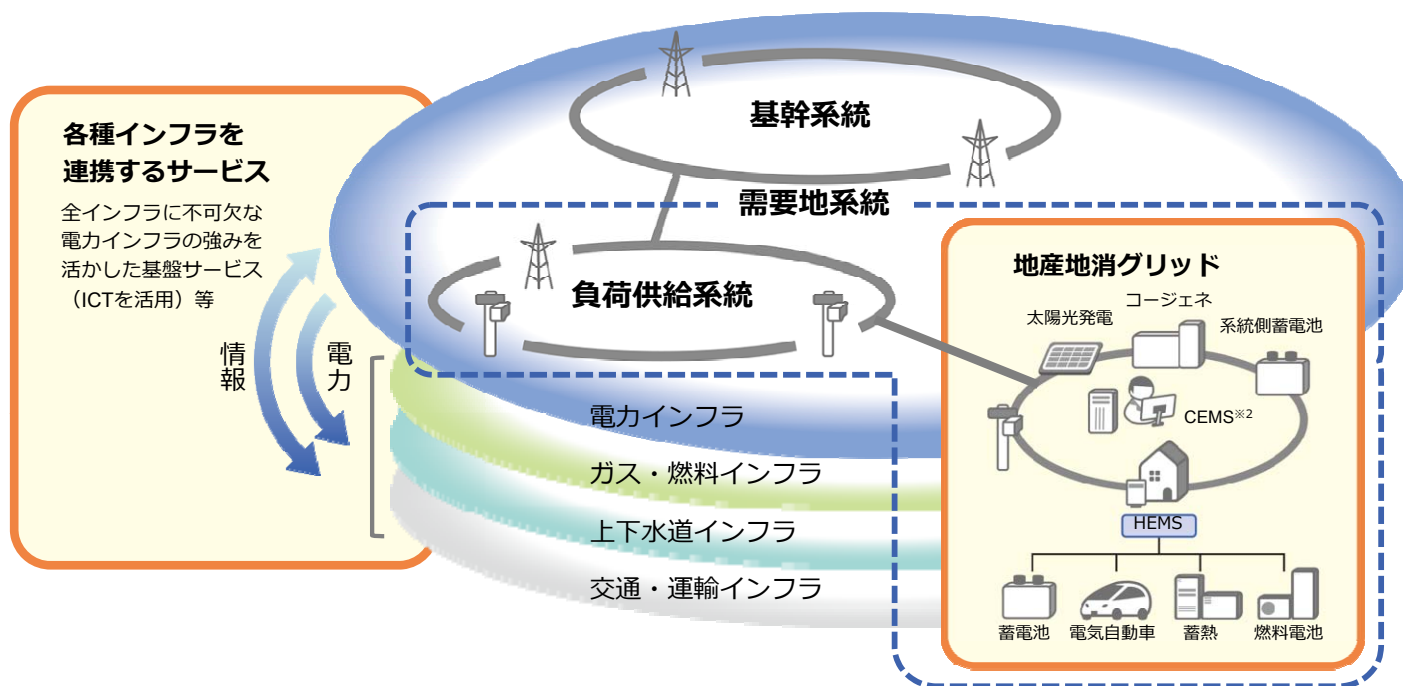
技術革新を積極的に取り入れた新しい電力ネットワーク構築と、カンパニー内外のリソース活用を通じて、お客さまに新たな価値をお届けします。

送配電事業者としての中立性・公平性を確保した上で、電力ネットワークカンパニーおよびグループ会社のリソースを活用した新しい事業の展開に取り組み、効率的なエネルギー利用の推進と事業領域の拡大の観点から新たな価値を創出します。

効率的なエネルギー利用への貢献と新たなエネルギービジネスの展開

海外事業	コンサルティング事業、海外送配電事業 等
国内新規事業	スマートコミュニティ（地産地消グリッドや電池アグリゲータ※ ¹ を含む）事業、共通インフラ連携（メーター等）事業 等

新たなサービスを包含する電力ネットワークのイメージ



※1 蓄電池を設置する需要家を取りまとめる事業者
 ※2 地域内エネルギー管理システム (Community Energy Management System)

4

販売カンパニー

ガス&パワーを中心とした「総合エネルギーサービス」のリーディングカンパニーを目指します。

販売カンパニーは、「変わらぬ使命の完遂」と「新たな価値の創出」という2つの行動原則のもと、地球環境に配慮した、良質なエネルギーサービスを安全・安価で安定的にお届けする使命を果たすとともに、事業領域の拡大に積極的に取り組み、お客さまに選ばれる存在であり続けることを目指します。

販売カンパニーのミッションと目指す姿

I 変わらぬ使命の完遂

地球環境に配慮した、良質なエネルギーサービスの安全・安価で安定的なお届けを基盤として、

II 新たな価値の創出

お客さまにより一層「ご満足」いただける、最良のサービスの提供

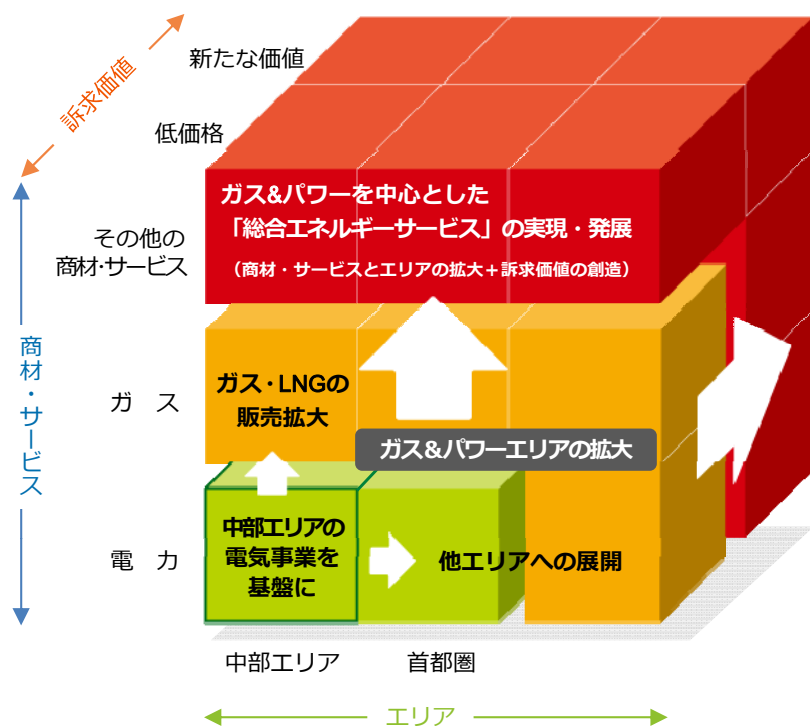
他社に先駆けた新しい取り組みへの挑戦

ガス&パワーを中心とした
総合エネルギーサービスの
リーディングカンパニーへ成長

- エネルギー販売を取り巻く事業環境の変化をチャンスととらえ、地球環境に配慮した、良質なエネルギーサービスの安全・安価で安定的なお届けに努めるとともに、積極的な事業領域の拡大に取り組みます。
- お客さまに、より一層「ご満足」いただけるよう、期待を超える魅力的なサービスの提供に努めます。また、今後も中部地域を基盤としながら、競争力のあるエネルギー源を活用した中部エリア外での販売の展開や、ガス販売のさらなる拡大など、他社に先駆けた新しい取り組みを加速していきます。こうした取り組みを通じて、お客さまにお選びいただき、ガス&パワーを中心とした「総合エネルギーサービス」のリーディングカンパニーへと成長を果たします。

最良のサービスの提供に努め、他社に先駆けた新しい取り組みへ挑戦します。

電力・ガスをワンストップでお届けするガス&パワー販売を、今後の取り組みの中心に置き、「商材・サービスと販売エリアの拡大」および「訴求価値の創造」を通じて、事業領域の拡大に取り組みます。また、こうした取り組みを継続することで、「最良のサービスの提供」と「新しい取り組みへの挑戦」を果たし、ガス&パワーを中心とした「総合エネルギーサービス」のリーディングカンパニーへと成長していきます。



お客さまにより一層「ご満足」いただける最良のサービスの提供

- お客さまそれぞれの暮らしやお客さまのビジネスに応じた、期待を超えるサービスの提供
- 「トータルエネルギーソリューションサービス」のさらなる推進

他社に先駆けた新しい取り組みへの挑戦

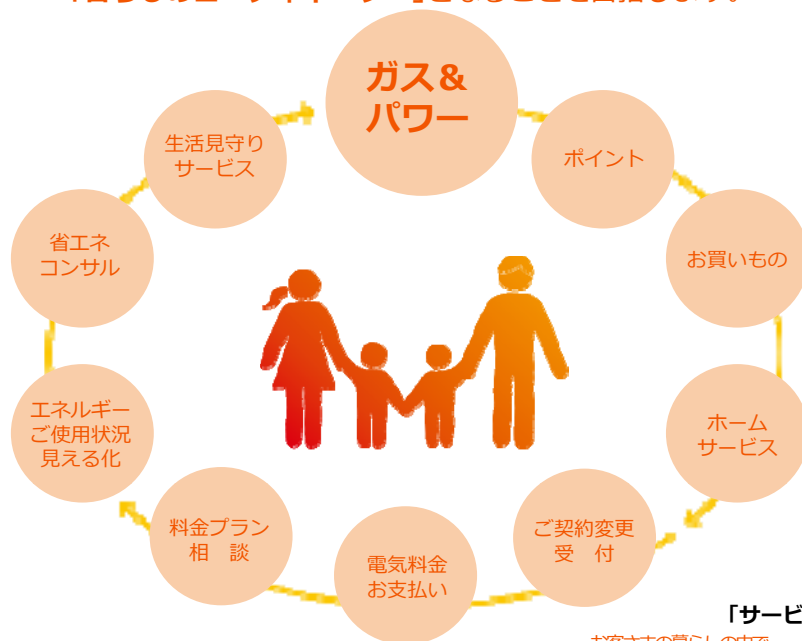
- 首都圏を中心とした電力販売の拡大
- 中部エリアの内外におけるガス・LNG販売の拡大

ご家庭のお客さまにも、ビジネスのお客さまにも、「ご満足」いただけるよう期待を超える様々なサービスを開発・提供します。

家庭分野

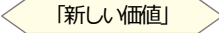
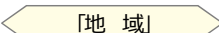
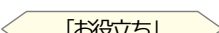
ご家庭向けWEB会員サービス「カテエネ」の充実をはじめ、電気だけではない、便利で快適な暮らしに貢献できる付加価値の高い様々なサービスを開発・提供していきます。

お客さまの生活のあらゆる場面で、「暮らしのコーディネーター」となることを目指します。



カテエネキャラクター「カテエネコ」

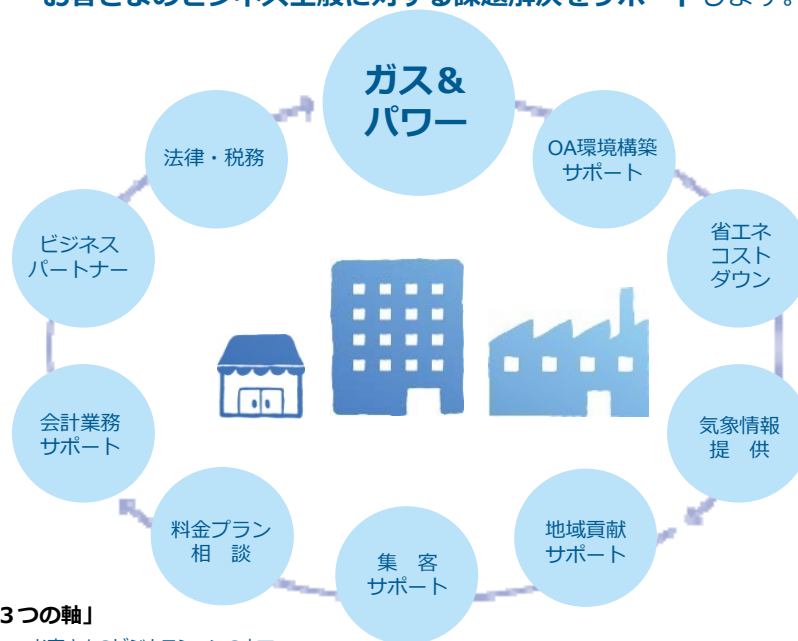
「サービスを提供するうえでの3つの軸」

- 
「新しい価値」
 お客さまの暮らしの中で、これまでにない新たな価値や便益を提案
- 
「地域」
 お客さまがお住まいの地域における情報発信や安心・安全に関するサービスなど地域に根付いたサービスの提供
- 
「お役立ち」
 暮らしでの課題・お悩みの解決をサポートするサービスの提供

ビジネス分野

低廉なエネルギーの供給によるエネルギーコストの削減に加え、法人向けWEB会員サービス「ビジエネ」の充実を図るなど、お客さまのビジネス全般に対する課題解決に貢献できるサービスを開発・提供していきます。

エネルギーを軸としながら、お客さまのビジネス全般に対する課題解決をサポートします。

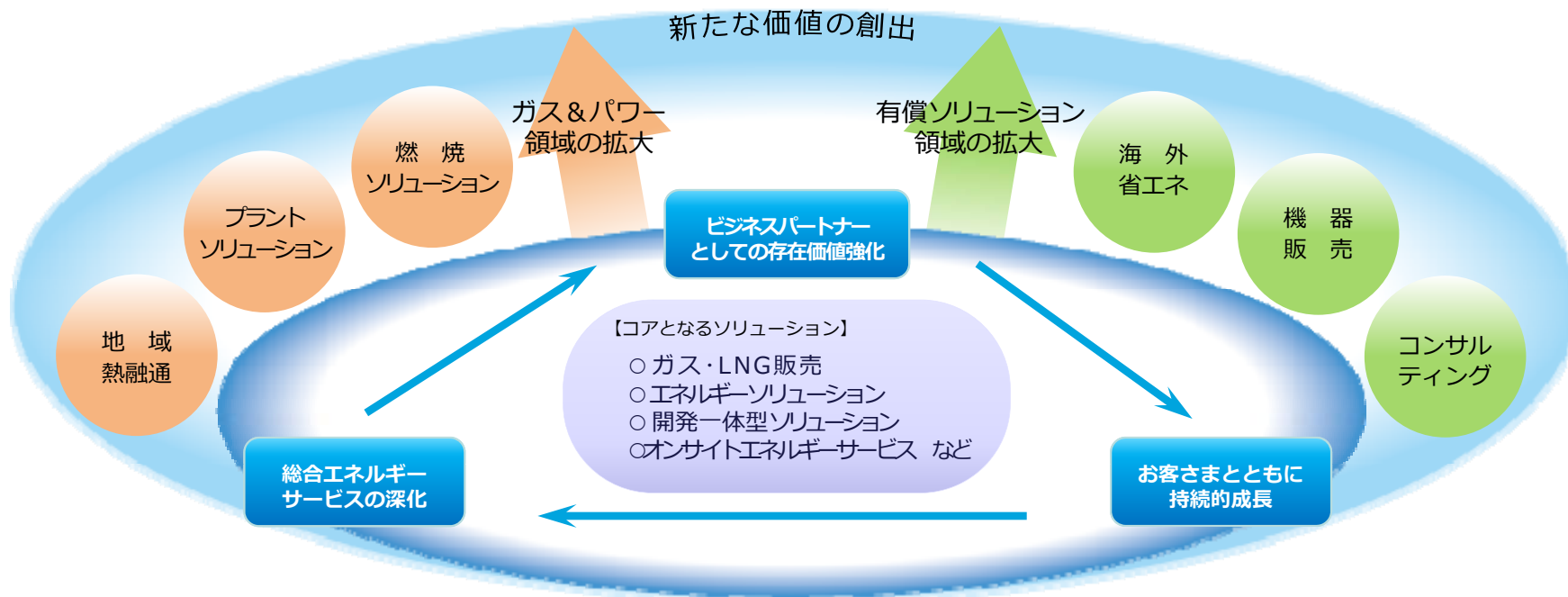


ビジエネキャラクター「ビジエネズミ」

4-4 最良のサービス提供に向けた取り組み②

「トータルエネルギーソリューションサービス」を推進し、
ビジネス分野のお客さまの「ご満足」をさらに高めていきます。

お客さまのエネルギーに関するニーズが高度化・多様化する中、最適なエネルギー利用を追求するエネルギーソリューションなどとともに、ガス&パワーや有償ソリューションの領域拡大を、グループ内外と協働し、推進していきます。これらの取り組みを通じて、「トータルエネルギーソリューションサービス」を積極的に推し進め、お客さまのビジネスに貢献していきます。



販売エリアや商材・サービスを拡げることで、エネルギー販売量の拡大を目指します。

首都圏を中心とした電力販売の拡大

ガス・LNG販売の拡大

販売面での取り組み

ガス&パワーをはじめとした、複合的なエネルギーサービスの開発・提供に努めるとともに、様々な業種のパートナー企業との連携を進めるなど、お客さまとの新たな接点を積極的に開拓していきます。

調達面での取り組み

JERAが開発する電源とともに、卸電力取引所を活用した電源の調達などにも早期から取り組み、中部エリア外においても競争力ある電源の安定的な確保に努めます。

JERAが調達するLNGの活用などを通じ、競争力あるガス・LNGの安定的な確保に努めます。

首都圏を中心とした中部エリア外の電力販売を拡大していきます。

中部エリアの内外でガス・LNG販売を拡大していきます。

2030年時点の販売目標

中部エリア外での販売電力量

2015年度
(推定実績)

約14億kWh

2030年

200億kWh

ガス・LNG販売量

2015年度
(推定実績)

約100万t

2030年

300万t

(参考) 2030年時点の事業規模等

発電、送配電、小売のそれぞれの分野において、 さらなる事業規模の拡大・サービス水準の向上を目指していきます。

それぞれの分野における目指す姿の実現に向け、自律的に事業拡大・サービス水準の向上を図っていきます。

分野		現状	2030年 (発電分野は東京電力との合併会社JERAの事業規模を記載)
発電	燃料事業	<ul style="list-style-type: none"> ●上流開発：4案件 ●取扱規模：LNG1,500万t、石炭：1,000万t ●LNG輸送船：6隻 	世界最大級の調達規模をてこに、 燃料調達・上流の最適なポートフォリオを形成 <ul style="list-style-type: none"> ●上流開発：12案件程度 ●取扱規模：LNG：3,000万～4,000万t、 石炭：2,000万～3,000万t ●LNG輸送船：30隻程度
	国内発電事業	中部エリアを中心に11ヶ所、2,300万kWの火力発電設備を保有	既存インフラを活かし、1,200万kW規模の新設・リプレースを実施
	海外発電事業	投資規模累計1,000億円、持分出力330万kW	国内発電事業のノウハウを活かし、持分出力2,000万kWを目指す
送配電		全系託送料金単価※において、 国内トップレベルの水準 ※ 全系託送料金単価：「託送原価全体」を「総需要」で割った単価	お客さま1口あたりの停電回数・時間について 国内トップレベル（＝世界でもトップレベル）を目指す それぞれの電圧クラスで国内トップレベルの 託送料金単価水準を目指す
小売	電力販売事業	中部エリア外で約14億kWhの電力を販売	首都圏を中心とした中部エリア外の電力販売を、年間200億kWhに拡大し、収益の拡大を目指す
	ガス販売事業	年間約100万tのガス・LNGを販売	中部エリア内外でガス・LNG販売を、年間300万tに拡大し、収益の拡大を目指す

中部電力株式会社

〒461-8680 名古屋市東区東新町1番地

TEL:052-951-8211(代)

www.chuden.co.jp

<見通しに関する注意事項>

本資料に記載されている将来の見通し等は、当社が記載時点で入手可能な情報に基づいており、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。したがって、将来における実際の業績または事業展開と異なる可能性があります。なお、潜在的な不確実性の例としては、今後の事業領域を取り巻く経済状況や競合環境の変化、燃料価格の変動、法律や規制等の変更などが挙げられます。